

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 能力探求スクール ジーニアス聖心校
------	------------------------------

公表日

令和7年3月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	できる限り広く感じられるように活動に合わせて机の位置など変更している	移転も検討する
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	ヘルプなどで人員は確保している	求人媒体の見直しを常時行っている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		入口のバリアフリー化は検討している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	清潔は維持できるようにしている	床が汚れやすいので、清掃頻度を上げていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7		パーティションの導入を検討している
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	4		管理職だけでなく、パートスタッフにも参画してもらおうにしている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	適宜アンケートは行っている	毎年意見をもとに改善を行っている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	定期的と必要に応じて面談を行っている	これまで以上に面談ができるようにスケジュール調整を心がける
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		導入を検討する
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	社内研修を実施している。外部の研修にも参加できるようにしている	外部の研修にも参加できるようにしている
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		今後も適切に公表していく
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	3		これまで以上に児童と保護者のニーズが把握できるよう仕様や方法の見直しを行う
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2		現在パートスタッフにも協力していただくよう説明中
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	5		今後は計画書の閲覧したかをチェックする体制を整えていく
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	適宜フォーマットの見直し変更を行っている	現状インフォーマルな視点は足りていないので、取り入れていく
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3		改善に向けて資料の作成途中
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動内容は正社員、パート問わず検討している	今後も誰もが意見を言いやすい環境を整え、より良い活動を行っていく
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	適宜活動内容の見直し改善を行っている	今後も適宜見直し改善を行う
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	個々の個性や能力に合わせるよう心がけている	今後更に個に沿った内容にしている

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	5		現状軽い打ち合わせになっているので、しっかりと時間を設けて行うようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4		送迎などですれちがってしまうので、LINEなどを有効活用していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		内容が日記のようになってしまわないよう適宜指導をしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		今後パートスタッフモニタリングに協力してもらい、より良いものにしていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	2		ガイドラインに基づいて基本活動を行うよう心がけている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	活動内容など選択できよう配慮している	言語的コミュニケーションが困難な利用者に対する支援方法を見直しを行っていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		管理者に限らず勉強の機会として他のスタッフも参加できるようにしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	6		連携が取れている状況ではないので、今後は積極的にそのような場に参加し顔の見える関係性を構築していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		今後もLINEを有効活用し情報共有を行っていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7		現状行えていないので、今後はこちらから連絡を取るようになっていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6		現状必要に応じてなので、今後は積極的に共有するようにする
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		適宜相談している現状を維持していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		現状行えていないので、そのようなイベントを開催していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		今後はこれまで以上に参加できようスケジュール調整を行う
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	3	送迎の際などに情報共有を行っている	共通理解へと繋げられるよう心がける
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7		現状行えていないので、今後開催できるよう計画をたてていく
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		丁寧を心がけているが少々時間を要するので、纏めて分かりやすくなるようツールの見直しを行う
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	できる限り本人の意思を尊重するようヒアリングを行っている	今後も本人の意思にできる限り対応するよう心がける
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	4		改善の余地あり。改善を図る
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		専門用語などを多用せず分かりやすい助言をしていく
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		今後保護者会の開催を検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2		今後より迅速に対応できるよう連絡体制の見直しを行う

等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		広報誌やSNSを楽しみにして下さっている方のため、今後も力を入れていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		これまで通り情報漏洩にならないようにしていく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	2		使用する媒体の見直しを行う
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7		現状行えていないので、今後開催できるよう計画をたてていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	7		マニュアルはあるが保護者に開示出来ていないので今後は開示していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2		今後も継続的に避難訓練を行う
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に確認書類を用紙している	今後も現在の状況確認を行う
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		契約時に確認し提供しないようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		今後も安全を確保し支援していく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	契約時と必要に応じて保護者に説明している	今後も継続していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	4		口頭での共有にとどまってしまうがちなので書面化していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	2	定期的に研修を開催している	外部の研修にも積極的に参加していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		ガイドラインに沿って対応している	